

結果の概要

全国人口

1 人口の動向

総人口は1億2777万1千人でほぼ横ばい、日本人人口は3年連続の減少

平成19年10月1日現在の我が国の総人口は1億2777万1千人で、18年10月から19年9月までの1年間に1千人(0.00%)増加した。人口増減は、これまで増加幅が縮小傾向で推移し、平成17年に戦後初めて前年を下回った後、18年、19年とほぼ横ばいとなった。(表1、図1、表2)

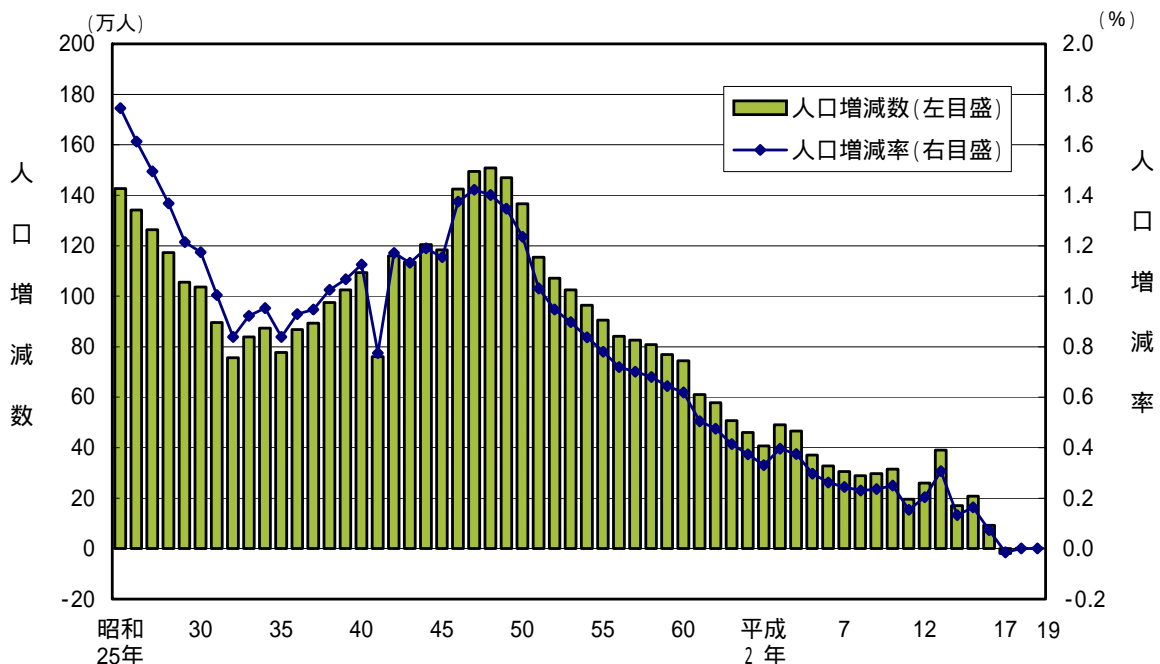
日本人人口は1億2608万5千人で、前年に比べ6万9千人(0.06%)減少し、3年連続の減少となった。(表1)

表1 総人口及び日本人人口の推移(平成14年～19年)

年次	総人口			日本人人口		
	10月1日現在人口(千人)	増減数 ¹⁾ (千人)	増減率 ²⁾ (%)	10月1日現在人口(千人)	増減数 ¹⁾ (千人)	増減率 ²⁾ (%)
平成14年	127,486	170	0.13	126,053	122	0.10
15	127,694	208	0.16	126,206	153	0.12
16	127,787	93	0.07	126,266	60	0.05
17	127,768 ³⁾	-19	-0.01	126,205 ³⁾	-61	-0.05
18	127,770	2	0.00	126,154	-51	-0.04
19	127,771	1	0.00	126,085	-69	-0.06

- 注1) 平成17年までの増減数には補間補正数(国勢調査人口を基に算出した推計人口と、その次の国勢調査人口との差を各年に均等配分して算出したもの。)を含む。
 2) 前年10月から当年9月までの増減数を前年人口(期間初めの人口=期首人口)で除したものの。
 3) 国勢調査人口。日本人人口は、総人口に対する日本人人口の割合であん分した国籍不詳を含む。

図1 総人口の人口増減数及び人口増減率の推移(昭和25年～平成19年)



注) 人口増減率は、前年10月から当年9月までの増減数を前年人口(期首人口)で除したものの。

表2 総人口の推移(昭和60年～平成19年)

(単位 千人)

年次	10月1日 現在人口	人口増減(前年10月～当年9月)									
		純増減 ¹⁾		自然動態 ²⁾			社会動態 ³⁾				
		増減数	増減率(%) ⁴⁾	出生児数	死亡者数	自然増減	入国者数	出国者数	社会増減	うち日本人	うち外国人
昭和60年	121,049 ⁵⁾	744	0.62	1,452	738	714	5,241	5,228	13	-7	20
61	121,660	611	0.50	1,397	767	630	5,599	5,606	-7	-23	16
62	122,239	579	0.48	1,372	752	620	6,891	6,919	-28	-39	10
63	122,745	507	0.41	1,323	786	537	8,565	8,582	-17	-54	37
平成元年	123,205	459	0.37	1,270	794	476	9,929	9,932	-4	-45	41
2	123,611 ⁵⁾	406	0.33	1,241	824	417	11,303	11,301	2	-30	32
3	124,101	490	0.40	1,224	829	394	11,168	11,130	38	-19	57
4	124,567	466	0.38	1,228	854	374	12,720	12,685	34	-7	41
5	124,938	370	0.30	1,205	882	322	12,398	12,408	-10	-17	8
6	125,265	327	0.26	1,229	877	351	13,982	14,064	-82	-76	-6
7	125,570 ⁵⁾	305	0.24	1,222	925	297	15,653	15,703	-50	-50	0
8	125,859	289	0.23	1,203	896	307	17,375	17,388	-13	-35	23
9	126,157	297	0.24	1,209	921	288	17,974	17,960	14	-42	56
10	126,472	315	0.25	1,215	933	282	17,028	16,990	38	-2	40
11	126,667	195	0.15	1,198	985	212	17,237	17,249	-12	-43	30
12	126,926 ⁵⁾	259	0.20	1,194	968	226	18,462	18,424	38	-50	88
13	127,316	390	0.31	1,185	966	219	19,266	19,120	146	66	79
14	127,486	170	0.13	1,176	981	195	16,321	16,372	-51	-104	53
15	127,694	208	0.16	1,138	1,023	115	15,038	14,970	68	3	65
16	127,787	93	0.07	1,126	1,024	103	17,673	17,709	-35	-77	42
17	127,768 ⁵⁾	-19	-0.01	1,087	1,078	9	18,951	19,004	-53	-103	50
18	127,770	2	0.00	1,090	1,090	0	2,836	2,835	1	-60	61
19	127,771	1	0.00	1,101	1,103	-2	2,882	2,879	4	-75	79

注1) 平成17年までの純増減には補間補正数を含む。このため、自然増減と社会増減の計は純増減と一致しない。

2) 「人口動態統計」(厚生労働省)による。

3) 「出入国管理統計」(法務省)による。平成17年までの日本人については、海外滞在90日以内の入国者数、出国者数を含めている。

4) 前年10月から当年9月までの増減数を前年人口(期首人口)で除したものの。

5) 国勢調査人口。

男性は3年連続の減少、女性は引き続き増加

男女別にみると、男性は6231万人(総人口の48.8%)で前年に比べ2万人(0.03%)減と3年連続の減少、女性は6546万1千人(同51.2%)で2万1千人(0.03%)増と引き続き増加となっている。また、女性が男性より315万1千人多く、人口性比(女性100人に対する男性の数)は95.2となっている。(表3)

表3 男女別人口の推移(平成7年～19年)

(単位 千人)

年次	男							女					人口性比
	10月1日 現在人口	純増減 ¹⁾		自然 増減	社会 増減	補間 ³⁾ 補正数	10月1日 現在人口	純増減 ¹⁾		自然 増減	社会 増減	補間 ³⁾ 補正数	
		増減数	増減率(%) ²⁾					増減数	増減率(%) ²⁾				
平成7年	61,574 ⁴⁾	128	0.21	123	-25	30	63,996 ⁴⁾	177	0.28	174	-25	28	96.2
8	61,698	124	0.20	129	-16	11	64,161	165	0.26	178	3	-16	96.2
9	61,827	129	0.21	118	0	11	64,329	168	0.26	170	14	-16	96.1
10	61,952	125	0.20	113	0	11	64,520	190	0.30	169	38	-16	96.0
11	62,017	65	0.10	77	-24	11	64,650	130	0.20	135	11	-16	95.9
12	62,111 ⁴⁾	94	0.15	85	-2	11	64,815 ⁴⁾	165	0.26	141	40	-16	95.8
13	62,265	155	0.25	81	52	21	65,051	236	0.36	138	94	4	95.7
14	62,295	30	0.05	69	-60	21	65,190	140	0.21	126	10	4	95.6
15	62,368	73	0.12	28	23	21	65,326	136	0.21	87	45	4	95.5
16	62,380	12	0.02	22	-31	21	65,407	80	0.12	81	-5	4	95.4
17	62,349 ⁴⁾	-31	-0.05	-25	-28	21	65,419 ⁴⁾	12	0.02	34	-25	4	95.3
18	62,330	-19	-0.03	-26	7	-	65,440	21	0.03	26	-6	-	95.2
19	62,310	-20	-0.03	-26	6	-	65,461	21	0.03	23	-2	-	95.2

注1) 前年10月から当年9月までの増減数。

2) 前年10月から当年9月までの増減数を前年人口(期首人口)で除したものの。

3) 国勢調査人口を基に算出した推計人口と、その次の国勢調査人口との差を各年に均等配分して算出したもの。

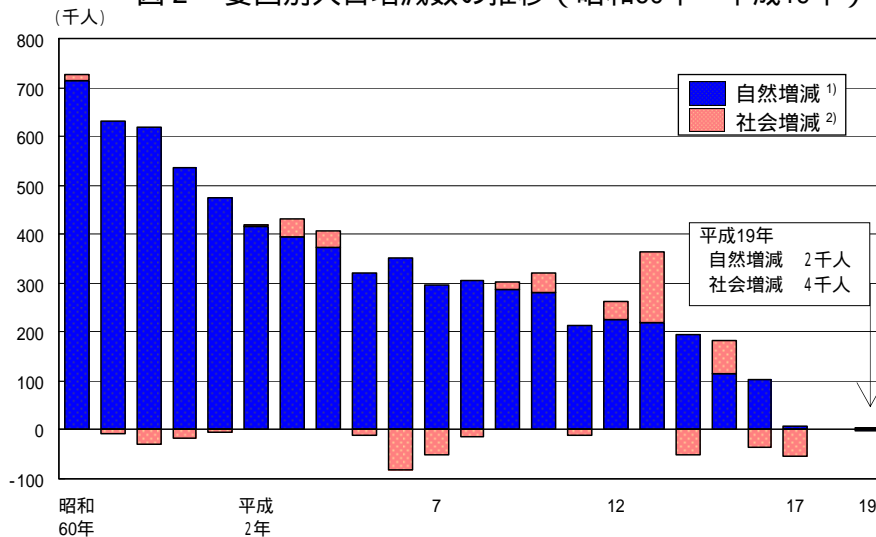
4) 国勢調査人口。

自然増減は、初めて自然減少に転じる

自然増減（出生児数 - 死亡者数）をみると、出生児数は、第2次ベビーブーム期（昭和46年～49年）以降は減少傾向が続いており、平成19年は110万1千人で前年（109万人）に比べ1万1千人増加した。一方、死亡者数は、110万3千人で前年（109万人）に比べ1万3千人増加した。このため、平成19年は出生児数が死亡者数を2千人下回り、自然増減は比較可能な昭和25年以来、初めて自然減少に転じた。男女別にみると、男性は自然減少が3年連続となり、女性は自然増加が続いているが増加幅は縮小している。（表2、表3、図2、図3）

社会増減（入国者数 - 出国者数）をみると、平成19年は入国者数が288万2千人、出国者数が287万9千人となっており、外国人の入国超過数（7万9千人）が日本人の出国超過数（7万5千人）を上回り、社会増減は4千人の増加となっている。男女別にみると、男性は入国超過が2年連続となり、女性は出国超過が4年連続となった。（表2、表3、図2）

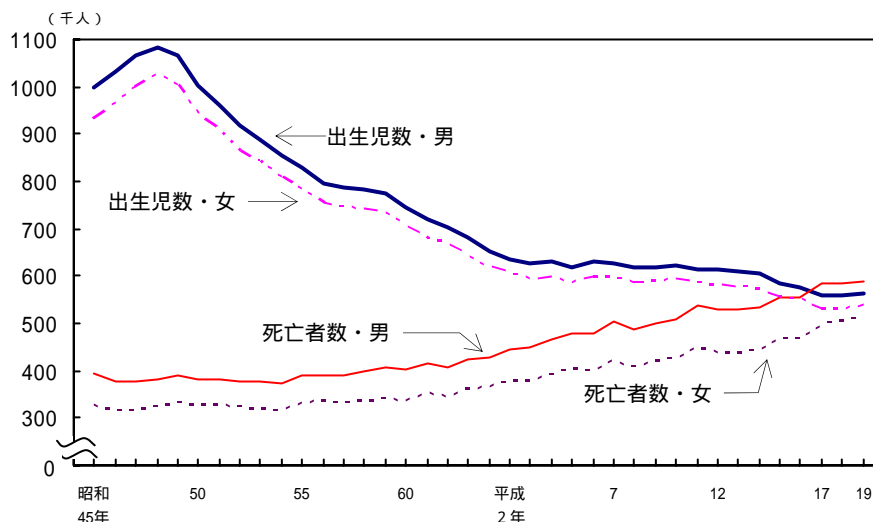
図2 要因別人口増減数の推移（昭和60年～平成19年）



注1) 「人口動態統計」(厚生労働省)による。

2) 「出入国管理統計」(法務省)による。平成17年までの日本人については、海外滞在90日以内の入国者数、出国者数を含めている。

図3 男女別出生児数及び死亡者数の推移（昭和45年～平成19年）



注1) 「人口動態統計」(厚生労働省)による。

2) 昭和45年、46年は沖縄県を含まない。